



自分たちの表現を工夫しよう

曲想の変化に注目しながら、「時の旅人」(● p.82) の音楽の特徴を捉えて、表現を工夫しましょう。

時の旅人

めぐる風 めぐる想いにとつて
なつかしいあの日に 会いにゆこう
ぼくらは時の旅人

忘れかけていた日々
すべてのものが友達だった頃
汗をぬぐってあるいた道
野原で見つけた小さな花
幼い日の手のぬくもりが 帰ってくる

やさしい雨にうたれ
緑がよみがえるように
涙のあとには いつも君がそばにいて
生きる喜びおしえてくれた

今、君といっしょに
未来への扉を開こう
あふれる希望をうたおう

めぐる風 めぐる想いにとつて
すばらしい明日に会いにゆこう
なつかしい明日に会いにゆこう
ぼくらは夢の旅人
ぼくらは時の旅人

- 1 歌詞を読み、どのような場面が表されているかを確認しましょう。また、音楽を聴いて、場面ごとに曲想がどのように変化しているかを感じ取りましょう。
- 2 それぞれのパートを歌ったり、他のパートと歌い合わせたりしながら、この音楽の特徴や歌詞との関わりなどについて気付いたことを話し合しましょう。
その際、下の **注目するポイント** を参考にしましょう。

注目するポイント

リズム

速度

ギャップ
旋律

テクスチャ

強弱

構成

気付いたことや話し合ったことなどを書きましょう。

- 3 2で気付いたことを手がかりに、3つのパートを歌い合わせながら、どのように歌いたいかを話し合い、自分たちの表現を工夫して歌いましょう。

話し合ったことや工夫したこと、歌ってみた感想などを書きましょう。